



松進は他とどこが違う

松進の指導の特長の一つに、「他が気づいていない事に気づいている」があります。
今日はそれについて、二人の子どもを例にお話しします。

■基礎力をつける方法は子どもの様子で異なる！

成績を上げるためには、基礎力をつけることが必要不可欠。
このように言うと「そんなことは言われるまでもない」と思いますよね。
ではお聞きします。あなたなら基礎力をつけるのに、どのようなことに注意して指導をしますか。

この問いに「公式をただ暗記するのではなく、成り立ちなどを理解してから覚えることが大事」と答えるのではないのでしょうか。
実際、多くの親や学校や塾の指導者が、**基礎内容の理解をしてから暗記することが大事だ**と考え、子どもに接しています。
考えは間違っていないのですが、その考えでは救われない子どもたちがいることを御存知ですか。
次の事例で説明します。
AさんとBさんが20分間、数学(算数の公式)について勉強をしたとします。さて、二人の様子は？
Aさんは10分で公式の成り立ちを理解し、暗記を残りの10分でやりました。
ところがBさんは公式の成り立ちを考えているうちに20分が経ってしまいました。

公式は計算や応用問題を解く上で絶対に必要な知識です。
覚えていければ問題を解ける確率が高くなります。しかし公式を覚えていない子は解くことができません。テストの点は低くなります。
公式を覚える時間がないBさんは、どうすればいいのでしょうか。

「時間をもっと取って勉強した方がいいよ」
こう言う指導者は失格です。
勉強は数学だけではありません。他にもやらなければならぬことがいっぱいあります。一つのことにずっと時間をかけている余裕はないのです。
Bさんのような子どもを救うことを真剣に考えるのが学校であり塾ではありませんか。



私たちはBさんのような子供に次のようなアドバイスをしています。
☆公式の成り立ちや意味を理解できなければ、そのまましておきな。
☆まずは公式などの基礎をしっかり暗記してみよう。
☆暗記したら公式を使って計算や応用問題を解く練習をしよう。

私たちが重視していることは、「解けた！」という感激を経験してもらって自信をつけること。
解けるようになってから、余裕があれば公式の成り立ちなどの勉強をすればよい。余裕がなければ無理しなくてよい。
基礎内容の暗記をしてから理解
これも指導の一つなのです。
既成概念に縛られない指導を思いつく、これが松進の強みです。



新しく入会した塾生の声

お家の方からの問い合わせで、「もう入塾は間に合いませんか?」と聞かれることがあります。
松進には「入塾のタイミング」というものはありません。あえて言うのであればやる気を持ったその日が入塾のタイミングです。
今回は最近入塾した生徒にインタビューしてみました。

①松進に入塾したきっかけは何ですか。
②松進に入る前は、松進にどんな印象を持っていましたか。
③授業を受けての感想を教えてください。

④これからの勉強や進路の目標を教えてください。

- ☆小学生 Kさん☆
①前に別の塾に通っていたけれど、「どうしてそうなるのか」ということをあまり詳しく教えてくれなかったから。
②難しそう感じた。
③分かりやすい。
④どんだん上の学年の問題もやっていききたい。
- ☆小学生 Sさん☆
①兄たちが昔、松進に通っていて、自分も行きたいと思ったから。
②ちょっと難しそうだな、という印象だった。
③学校よりもしっかり教えてくれるし、やりやすい。
④算数で学校の勉強の速さよりも先に進んで行きたい。
- ☆中学生 Yさん☆
①母親から勧められ、体験を受けたら良いなと思ったから。
②松進のことは何も知らなかったから少し不安があった。

③授業がわかりやすく、自分にちょうどいいレベルの勉強が進められている。
④これから少しずつ勉強量を増やして伊那北合格を目指したい。

☆中学生 Kさん☆
①数学ができたので塾を探していた時、家から一番近い塾が松進だったから。
②あまり知らなかったけれど、自分の周りに松進に通っている人がいたので、悪い印象はなかった。
③公式をまとめた教材があり、分かりやすいと思う。先生も分かりやすく解説してくれるので、内容を理解しやすい。
④数学をできるようにして弥生ヶ丘高校に合格したいです。



☆高校生 Kさん☆
①夏期講習を松進で受けて、丁寧に教えてもらえ、分からなかったところが分かるようになっていきました。
②それとこれから授業で行き詰るところが出てきたとしても、塾で聞けるからいいなとも思ったからです。
③周りの人が結構行っている塾。
④質問をしたら丁寧に解説してもらえるのでとても助かっています。自分でどんどん進んでいるなとも思っています。
⑤これからの勉強は毎日最低2時間は勉強するようにしないと。特に数学がついていけなくなるので頑張りたいです。

教育企画&面接

9月末から小学生理科実験大会、中学生学習会、さらに小学生と中学生2年生には面接を実施。
今回の実験大会は教室で実施。テーマは「空気」。
身近にありながら目には見えない空気の実験にみんな大興奮。楽しく理科を学ぶ機会を大事にしています。

中学生には定期テスト対策テストと受験対策を実施。
暗記事項の確認や、定期テストや入試の類似問題を解説。



今回の面接は、小学生と中2生が対象。
面接内容は普段の授業の様子、進路について、家庭での様子、勉強法の改善点や習い事との両立など、多岐にわたっています。
改善点は生徒自身だけでなく、ご家庭にある場合も多くあります。
私たちのアドバイスを理解され、実行していただきたいと思います。実行したご家庭は良い方向に向かっています。
可能性を信じて頑張ることが大切です。



松進のしんせい

三沢先生は毎日、逆立ちをしているらしいです。
「逆立ちでは毛は生えませんが」と自慢毛に話す三松先生。
そこへ、
「しんせい(増毛)〜、あついや、どうも〜」と大槻先生登場。



※紙面が足りなくて、すみませ〜ん。(夢グルー)社長登場
続きは来月をお楽しみに！